

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名	居宅介護予防支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康
	施策	16	高齢者・障害者の自立促進と社会参加	所属課	高齢者支援課	担当者名	大島多美子
	基本事業	49	高齢者の介護予防の充実	所属班	包括支援センター班	(内線)	2118
				法令根拠	介護保険法第8条の2第18項及び法第115条の22		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	6
	30	11	4	1	10454			コスト削減優先度評価結果	—

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 18 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
指定介護予防支援(要支援1・2)の介護予防給付ケアプランの作成

【業務の流れ】
要支援1・2の方へのケアマネジメント
委託事業所との契約、ケアマネジメント料支払、情報の共有等

【主な予算費目】報酬・職員手当・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 指定介護予防支援	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 件 → ケアマネジメント数 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 要支援認定者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 → 要支援認定者 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 状態の悪化を防止する	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 人 → 維持・改善された要支援認定者 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 健康である	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → 高齢者に占める特定高齢者の割合 イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	10,263	11,896	13,282	12,909	13,536	14,110		14,355
		繰入金	千円					2,355	2,355		2,360
	一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	10,263	11,896	13,282	12,909	15,891	16,465	16,715		0
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	人	2	2	2	2	2	2	2		2
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	2		
延べ業務時間	時間	1,300	1,500	1,500	1,444	1,500	1,500	1,500	1,500		
(B)人件費計	千円	5,161	5,970	5,970	5,747	5,970	5,970	5,970	5,970		
トータルコスト(A)+(B)	千円	15,424	17,866	19,252	18,656	21,861	22,435	22,685	0		
活動指標	件	2,099	3,306	2,400	3,406	3,400	3,500	3,600			
対象指標	人	401	486	587	494	672	722	772			
成果指標	人		307	370	343	423	455	480			
上位成果指標	%	0.4	4.96	3	4.63	3	3	3			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成18年度介護保険法の改正により、指定介護予防支援事業者の指定を受け実施

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成18年の介護保険法改正は、予防を重要視した改正となっている。介護状態にならない、あるいは介護状態となっても状態を維持し重度化させないという、防波堤をいくつも作り、介護保険制度を将来にわたって持続可能になるよう先送りをしていく制度へと転換された。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

事務事業名	居宅介護予防支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 本来自分でできることを、いきすぎたサービス(過介護)のために却って状態が悪くなることを極力抑えることにより、自立した生活を長期にわたって過ごせるよう介護保険法が改正された。この法の趣旨に基づくものであり、整合性は図られている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 法に基づくものであり、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 指定介護予防支援事業所として、要支援認定者への対応をしているので妥当。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 出向の主任介護支援専門員には、要支援認定者へのケアマネジメント以外に、包括的・継続的ケアマネジメント支援や地域資源とのネットワークの構築にもかかわらせるべきだと考える。そのためには、現在担当する件数の見直しも必要。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 要支援から要介護、あるいは要介護から要支援等、地域における対応方法の一元化等は必要なことであり、廃止・休止はありえない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 高齢化の進展とともに、介護認定者も増加する。1人の介護支援専門員の担当する件数にも限度があり、適正な件数を維持する必要があるため削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、地域包括支援センターは直営で行っている。市における専門職は保健師のみで社会福祉士、介護支援専門員は出向及び嘱託職員となっており、それぞれの専門性を生かしながらチームを組んで事例対応している。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 法の趣旨に基づくものであり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	21年度の包括支援センターの運営方針について検討を行ない、出向の常勤の主任介護支援専門員に代わり非常勤職員2名を雇用し運営していくこととなった。全体的な運営経費の削減が図られる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○				低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)